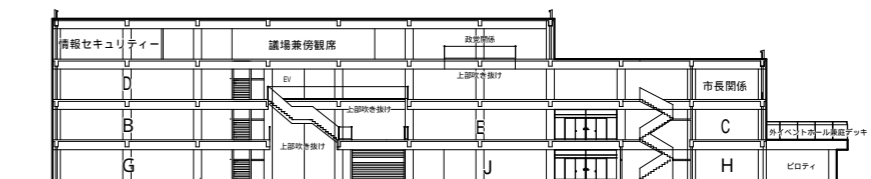


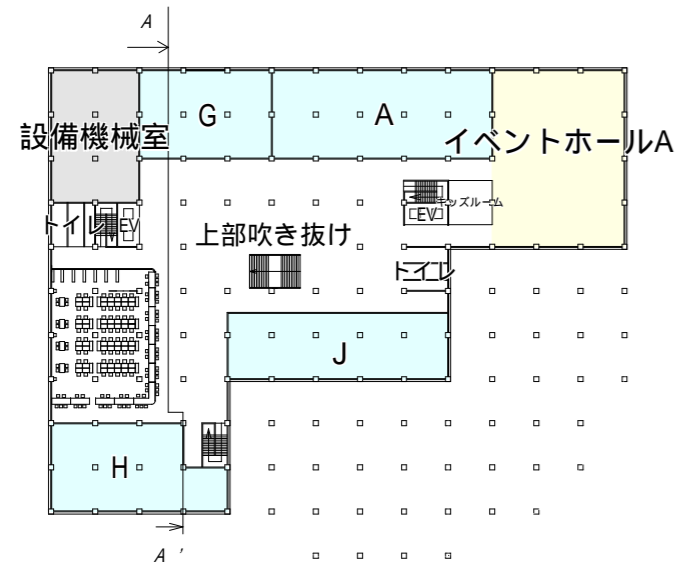
令和二年度 卒業制作課題 「桐生市庁舎の設計」



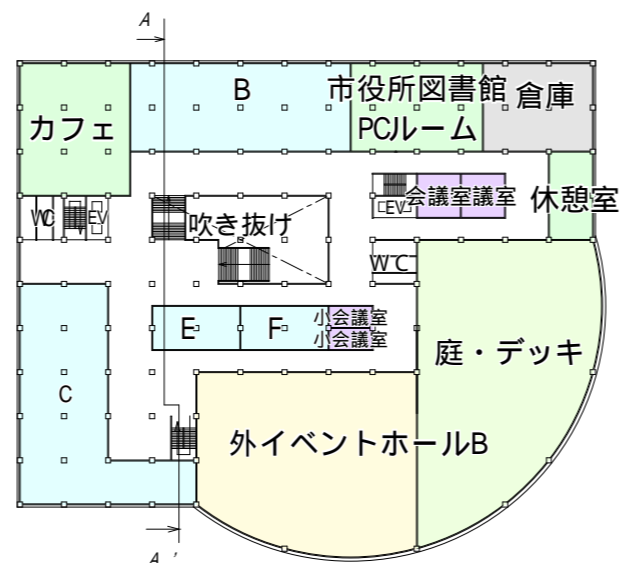
南立面図 1 : 375



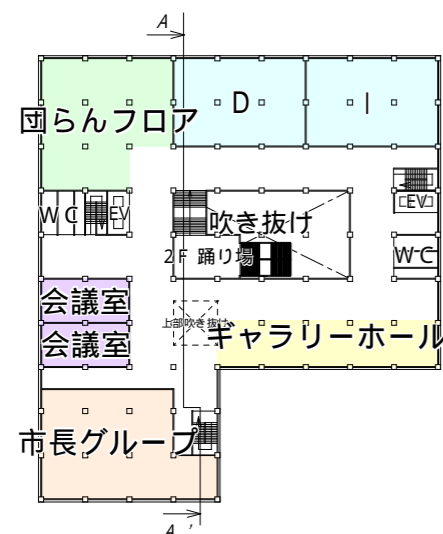
A - A' 西断面図 1 : 375



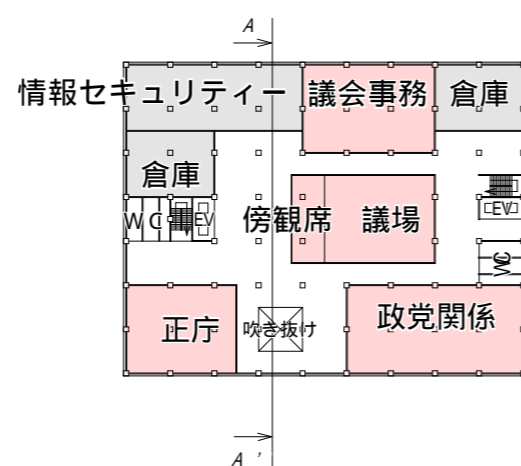
一階平面図 1 : 600



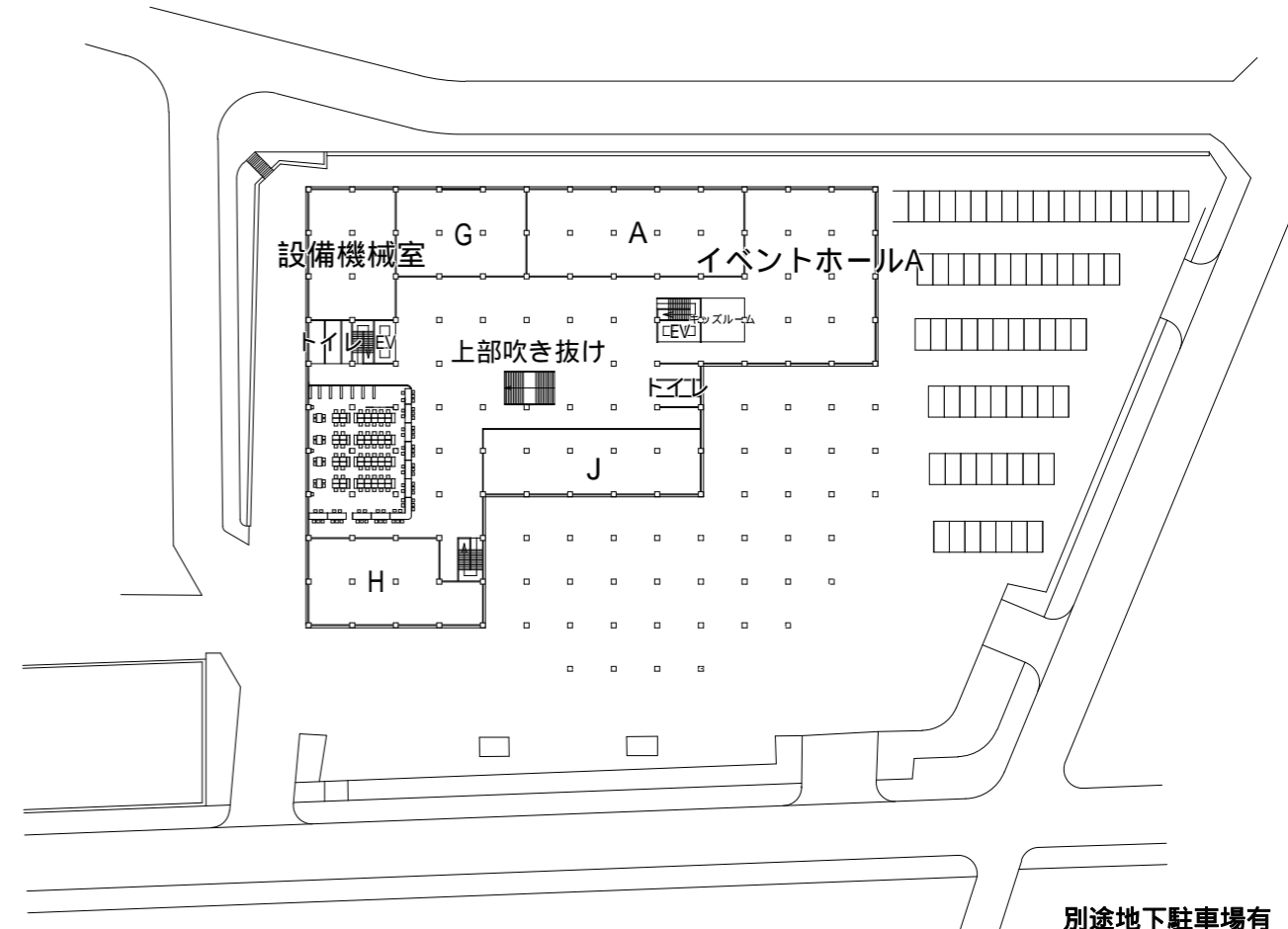
二階平面図 1 : 600



三階平面図 1 : 600



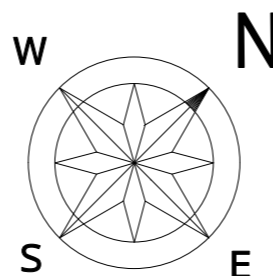
四階平面図 1 : 600



配置図兼一階平面図 1 : 600

設計主旨

この市役所は、子どもからお年寄りまで様々な年代に親しまれるようなそんな建物にしたいという思いが込められています。1階のイベントホールでは、小規模なイベントができるように大きな空間を設計しました。桐生の伝統でもある八木節を市役所内で行うこともできます。さらに建物の真ん中に大きな吹き抜けを設けることにより、建物全体に一体感を得ることができます。また、大きな大階段を中心に設置することにより、階の行き来がしやすくどこに何の課があるのかも一目でわかります。市役所に隣接するようである、桐生市民文化会館通称、シルクホール。2棟並んだ際の一体感が欲しかったため、2階部分は大きな庭デッキを設けました。ここで、市民のみんなが自然を感じながら団らん、食事等することも可能です。市役所内で働く人もここで一息休憩することが出来ます。庭には、桐生市の木のモクセイと桐生市の花、サルビアが植えられており、桐生市民や外から訪れる人に潤いと安らぎを与える効果をもたらします。カフェは桜並木が並ぶ面に設けました。春は桜を見ながら食を楽しむことができ、秋は紅葉を楽しむことができます。学生や若い人とお年寄りの繋がりができるように、団らんでできるスペースを3階EV付近に設けました。ここで、お年寄りの方しか知らない昔の桐生の様子を継承し、これからの桐生を担う若い学生の集いの空間になればと思います。



別途地下駐車場有